禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D13

「中央職業能力開発協会編」

令和5年度 技能検定
3級 家具製作 学科試験問題
(家具手加工作業)

1. 試験時間　　1時間
2. 問題数　　30題
3. 注意事項

(1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。

(2) 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。

(3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。

(4) 試験開始の合図で始めてください。

(5) 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。

イ. 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。

ロ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。

ハ. 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。

(6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。

(7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。

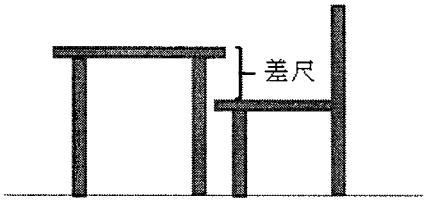
(8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。

(9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。

(10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。

(11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

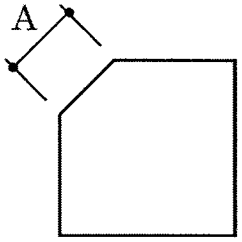
1　差尺とは、座面(座位基準点)から甲板上面までの鉛直(垂直)方向の寸法差をいう。



2　いすの構造において、スツールとは、座、脚及び背もたれのあるものをいう。

3　スタッキングとは、分解、組立てが可能な家具をいう。

4　製図において、C3は、次図の傾斜部の寸法Aが3mmである。



5　日本産業規格(JIS)によれば、家具製作用図面は、第二角法で描くこととされている。

6　日本産業規格(JIS)の製図において、寸法補助記号のφは、半径の寸法を表す。

7　木材加工用機械を使用する際は、手袋をしたり、手ぬぐいを首に巻きつけたりすることは、機械に巻き込まれるおそれがあるので、危険である。

8　木材加工工場の作業場は、白線などで通行区分を表示する必要がある。

9　酢酸ビニル樹脂接着剤は、熱可塑性である。

10　ケヤキは、針葉樹である。

11　ファイバーボードとは、木材などの小片を主な原料として、接着剤を用いて成形・熱圧した板のことをいう。

12　家具用木材には、一般に、心材部よりも辺材部の方が適している。

13　木材の乾燥時間を天然乾燥と人工乾燥とで比較した場合、一般に、人工乾燥の方が乾燥時間が長い。

14　木材の乾燥速度は、一般に、比重が小さく、材の厚さが薄いほど遅い。

15　絶乾材(全乾材)とは、自由水がなくなり、結合水が残っている木材のことをいう。

16　木工工作において、端金(はたがね)は、板のはぎ合せや組立てなどに使用する締付け工具である。

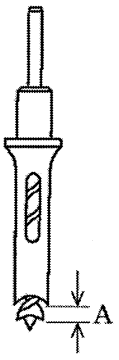
17　かんな台の下端の調整は、荒仕上げかんな、中仕上げかんな及び仕上げかんなで、それぞれ異なる。

18　反り台かんなは、仕上げ材の平面を削るのに最も適している。

19　白書(しらが)きとは、直角定規や斜め定規などと併用して使用し、板材や角材に加工墨をけがくのに用いる小刀の形をしたものをいう。

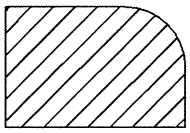
20　自動一面かんな盤で送り速度を速くすると、削り肌が粗くなる。

21　角のみ盤の心きりの取付けにおいて、次図のA部は、箱のみよりも1～1.5mm程度突き出させる。



22　割れやすい木材に釘を打つ場合は、釘径よりも太い下穴をあけて打つとよい。

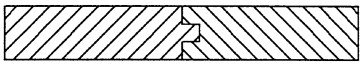
23　次図は、ぎんなん面である。



24　ほぞ接ぎは、ほぞの長さとほぞ穴の深さを同じ寸法にするとよい。

25　留め接ぎは、木口が見える。

26　次図の板はぎは、本ざねはぎである。



27　引出しの仕込み調整は、適度な隙間ができるようにして行う。

28　木工における素地調整は、素地の表面を整えて、塗装効果を高める作業である。

29　木材に塗装する目的は、木材の強度を高めるためである。

30　だぼ接合は、一般に、ほぞ接合に比べて木材製品の大量生産の加工に適している。